



スーパーGT 第7戦 2022年10月1-2日 オートポリス



予選 2th / 決勝 1st

これまでの2大会で起きたマシンの不具合を修正し、今回のオートポリス大会を迎えました。入場制限が緩和されたことで多くのお客様が来場、3年ぶりに大変な賑わいになりました。期間中は晴天に恵まれ、10月とは思えないほどの暑さの中、予選は2位。久しぶりにフロントローとなった決勝レースは、戦略、ピット作業、ドライバーのすべてが完璧に噛み合い、2020年、最終戦の富士大会以来、オートポリスで初めて優勝することができました。

たくさんの応援、ありがとうございました。



<予選>

予選はBグループ。Q1を任せられます。抜きにくいオートポリスでは上位スタートが必須。Q1は絶対に突破しなければなりません。路面温度が高くなったためアタックチャンスは1回。しっかり合わせこんで2位でQ2に繋げることができました。Q2は吉田選手。トップに迫るタイムを刻み全体2位。決勝はフロントロースタートです。

<決勝>

決勝日、路面温度は43度。スタートドライバーを担当します。トップの#61にしっかり張り付いて追い抜きのチャンスを狙います。タイヤを無駄に傷めないよう、確実に抜ける時まで追走し500クラスが混走し始めたタイミングでオーバーテイク。ここで一気にトップに立ちます。23周目でピットに入り、吉田選手へのドライバー交代とタイヤ交換を実施。ピット作業も迅速で

2番手の#61には約10秒の差でコースに復帰。その後はタイヤマネージメントしながら走行を重ね、途中2回のFCYが入るも大きなトラブルはなく、このまま後ろを引き離しトップでチェッカーを受けました。

2020の最終戦、富士大会以来となる優勝。オートポリスでは初めて優勝することができました。2年間、チャンスを逃してきましたが、本大会はすべてのことが完璧に噛み合い優勝することができました。たくさんのご支援と応援をいただき、ありがとうございました。

次戦は最終戦、11/5-6モビリティリゾートもてぎです。今回の結果でシリーズチャンピオンの可能性が残っています。チーム一丸となって万全の態勢で挑みます。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

